

専門書店や一般書店、国際福祉機器展などで販売されている書籍のうち、皆さんの生活に役立つ良質なものを選んで本棚に並べています。

『高次脳機能障害の夫と暮らす日々コミック 日々コウジ中』

この漫画はノンフィクションです。主人公の奥さんは高次脳機能障害を患った妻です。現在は記憶障害、判断力低下、感情失禁、易疲労性、病識の欠如、金銭管理ができないなどといった症状を抱えています。突然人が変わったようにふるまう。このぐらいつつ支えきれず家族と少しづつ離れていく。この漫画は、高次脳機能障害の夫と暮らす日々を、奥さんの目を通して描かれています。漫画の著者は奥さん本人です。

『やさしいパーキンソン病の自己管理』

パーキンソン病もまた、高次脳機能障害に匹敵するほどに



『なんでもできる片まひの生活 暮らしが変わる知恵袋』

周囲の理解が得られにくい本症は、症状の特徴や便秘、睡眠障害、嚥下障害、言語障害、認知機能障害、薬物療法による精神症状など、患者さんご家族向けに分かりやすく書いています。

本書は、脳出血・左片麻痺を抱える著者と特定非営利活動法人「夢の湖舎」理事長藤原茂氏との対談です。片まひ生活の知恵袋として、料理やアイロンのかけ洗物干し、風呂上りの身体洗物干し、爪切りなど写真ととも説明していきます。



当施設の機能訓練室にある本棚には、リハビリ分野をアツクつた良書が複数あります。ご来所の際、ぜひ手に取り、お読みになってみてください。